



はしかみ

No.23

11月号(November)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



「見て、見て、大きいおいもがとれたよ！」

～10月14日、階上保育園の園児77名がさつまいも掘りを楽しみました。～



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 9月定例会

06 ここが聞きたい

11 議会報告会

12 特集 区長に聞く

一般会計決算
町税収納率2年連続上昇

3議員が一般質問

11月26・27日開催

耳ヶ吠西行政区

第 6 回 9 月 定 例 会

平成 27 年第 6 回定例会を 9 月 8 日開会し、9 月 11 日閉会しました。
今回の議会では、認定 1 件、報告 3 件、条例の一部改正 2 件、補正予算 6 件、計 12 件が上程されました。また、議員派遣の件 1 件が提出されました。審議の結果、いずれも全会一致で認定、可決しました。一般質問は、3 人の議員が行いました。

一般会計決算

2 億 1 5 5 3 万円の黒字！

歳入 62 億 5 4 2 9 万円 歳出 59 億 6 0 4 3 万円

▽26 年度一般会計決算

歳入（収入）は、62 億 5 4 2 9 万円、歳出（支出）は、59 億 6 0 4 3 万円。

27 年度へ繰り越すべき財源 7 8 3 3 万円を引いた実質収支額は、2 億 1 5 5 3 万円、黒字を継続中です。このうち 1 億 2 千万円を、基金に積み立てました。

歳入では、地方交付税が 38・5% で最も高く、町税 17・4%、国庫支出金 11・2% の順となっています。自主財源は 31・5% で、

町税の収納額が前年度より増額となり、収納率が 2 年連続で上昇しました。依存財源は 68・5% で、地方消費税交付金が前年度より 2 9 5 1 万円増額となりましたが、国庫支出金・県支出金が 5 億円以上減額となりました。

目的別歳出では、民生費が 24・2% で最も高く、障害福祉費・児童福祉費の扶

助費、老人福祉費の介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計への繰出金等が主なものとなっています。

2 番目は総務費の 16・3% で八戸地域広域市町村圏事務組合負担金、庁舎駐車場整備工事費、駅前公衆トイレ新築工事費などが主なものです。

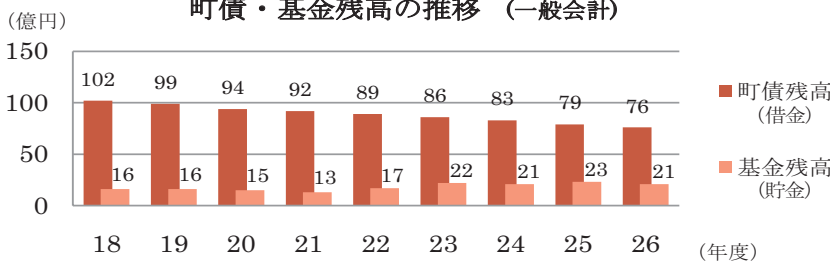
次いで公債費の 14・2% の順となっています。

性質別歳出では、義務的経費（人件費、扶助費・公債費）が 42・8%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費等）が 13・7%、その他の経費（物件費、維持補修費、補助費等、繰出金、積立金、出資金貸付金）が 43・5% となりました。

財政構造の弾力性を判断する経常収支比率は、93・2% で、前年度比 2・0% の減となり、4 年ぶりに改善されました。

町債現在高は、借入額の抑制により 75 億 8 3 3 7 万円となり、前年度より 2 億 8 5 3 8 万円の減となりました。

町債・基金残高の推移（一般会計）



「暮らし・人・地域を豊かに」

～平成 26 年度決算の主な事業～

【総務費】

防犯灯電気料・設置費補助金 1 8 8 5 万円、コミュニティバス・スクールバス運行委託料 2 4 7 1 万円、協働のまちづくり事業費 3 2 7 万円、町 P R 事業費 5 7 6 万円など。

被災農業者向け経営体 育成支援事業費補助金 8 9 3 6 万円、水産振興事業費 補助金 3 0 5 万円など。

【民生費】

自立支援事業費 2 億 4 2 6 9 万円、臨時福祉給付金 3 5 1 6 万円、放課後児童健全育成事業委託料 1 0 2 4 万円、ひとり親家庭等医療費 9 2 9 万円、子育て世帯臨時特例給付金 1 3 7 1 万円など。

ふるさとにぎわ い広場トイレ改修事業 2 6 1 0 万円、観光 P R 事業費 6 4 0 万円など。

【土木費】

除雪作業委託料 4 3 0 7 万円、町道維持補修委託料 2 8 7 7 万円、道路改良等工事 8 1 8 9 万円、新築住宅支援事業費等補助金 5 2 2 万円など。

【衛生費】

乳幼児等医療費 給付費 1 2 6 4 万円、住民検診委託料 2 3 6 2 万円、健康寿命延伸事業費 1 5 7 万円、ごみ収集及び処理委託料 2 3 8 0 万円など。

【消防費】

4 分団屯所新築・ポンプ車購入費 6 0 1 4 万円、コミュニティ助成事業（自主防災組織育成）助成金 1 7 0 万円など。

【農林水産業費】

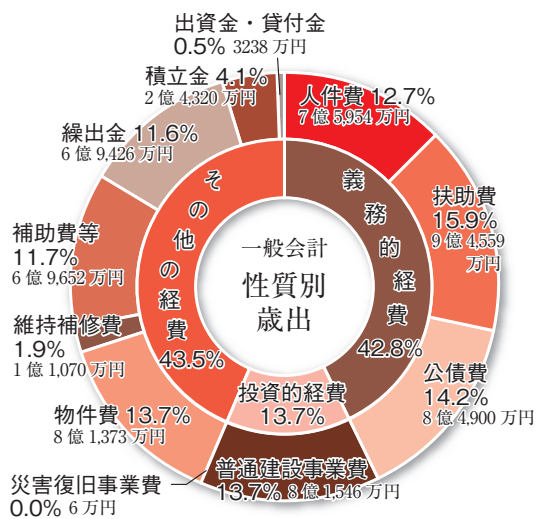
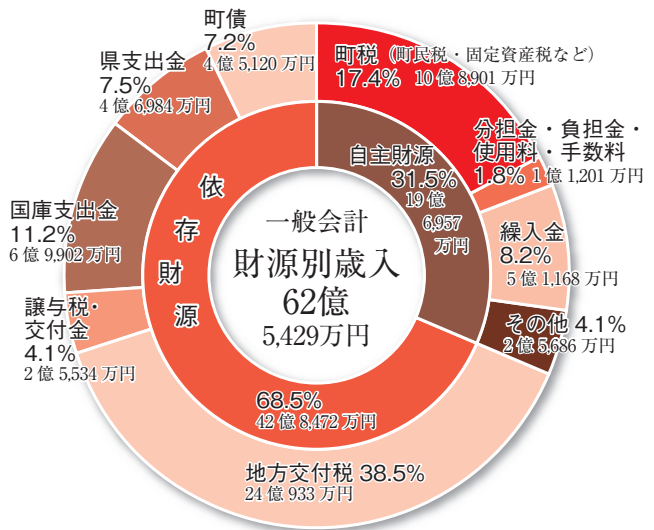
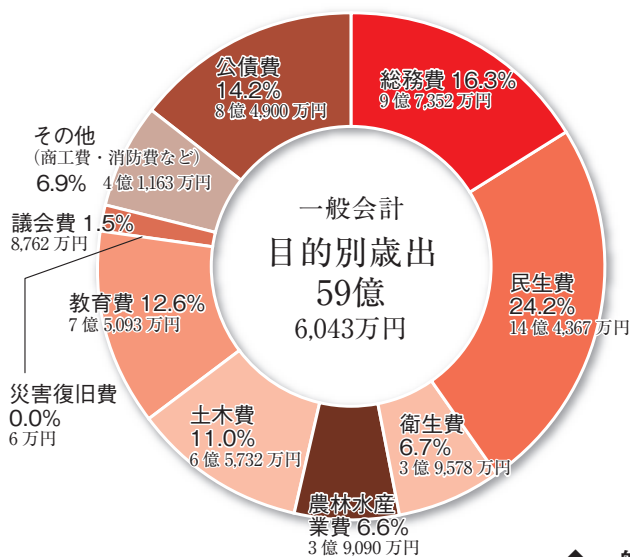
農村活性化センター厨房等改修事業 3 3 4 3 万円、中山間地域総合整備事業費 2 2 5 7 万

【教育費】

小中学校補修等 工事 1 0 9 0 万円、奨学資金 3 1 2 0 万円、町史編さん事業 1 5 4 万円など。

町税収納率 2 年連続上昇

— 26年度一般会計・特別会計決算を認定 —



◆一般会計・特別会計の決算額と収入未済額

会計名	決算額		収入未済額 (累計)	
	歳入(収入)	歳出(支出)		
一般会計	62億5429万円	59億6043万円	5億1047万円	
特別会計	国民健康保険	18億7105万円	17億6194万円	2億1022万円
	介護保険	11億6963万円	11億6253万円	871万円
	後期高齢者医療	9699万円	9638万円	92万円
	漁業集落排水事業	4110万円	4049万円	3万円
	公共下水道事業	2億6382万円	2億6112万円	6312万円
	小計	34億4258万円	33億2246万円	2億8300万円
合計	96億9687万円	92億8289万円	7億9347万円	

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

【監査意見】

財源の安定確保と 効率的な行政運営を

代表監査委員 三上孝八
監査委員 森 榮吉

▽一般・特別会計
26年度一般会計・各特別会計の予算の執行および事務処理は適法かつ適正な決算であると認められた。

歳入の柱である町税は、たばこ税及び鉱産税以外の税目の調定額、収入額が増となり、収納率が2年連続で上昇に転じ、明るい兆しがみえる。

引き続き、納税者の納税義務と税の公平負担の観点から、更なる収納率の向上を図り、収入未済額の圧縮に一層の努力をお願いする。

少子高齢化の進行に伴う社会保障費や扶助費、公共施設の維持管理費の増加などに加え、「暮らし・人・地

域を豊かにする」協働のまちづくりや防災体制の整備、三陸復興国立公園の指定を生かした事業、健康づくりなど、多くの課題が山積し、財政環境は厳しい状況。

これらの課題に的確に対応し、「ゆめみらい、心ときめくふるさとづくり」を実現するため、引き続き計画的、効率的な行政運営に努め、協働のまちづくりの精神を十分に発揮しながら、諸施策を展開するよう要望する。

▽財政健全化指標
昨年と同様に財政の健全化が保たれている。今後もこの状況を維持することを切望する。

特別会計決算

自主財源の確保がカギ

「国保税収納率0・86%の増」

▽26年度国民健康保険特別会計決算

歳入（収入）は、18億7105万円、歳出（支出）は、17億6194万円、1億911万円の黒字。そのうち6千万円を国保会計調整基金へ繰入れ。

▽26年度介護保険特別会計決算

歳入は、11億6963万円、歳出は、11億6253万円で、710万円の黒字。そのうち685万円を介護給付費準備基金へ繰入れ。

介護に係る保険給付費が、対前年比3170万円の増で、3・0%の伸び率となりました。

歳入は、国民健康保険税4億2620万円、国庫支出金5億1141万円、前期高齢者交付金2億2074円、共同事業交付金2億5271万円、繰入金2億2833万円など。

歳入は、9699万円、歳出は、9638万円で、61万円の黒字。

▽26年度漁業集落排水事業特別会計決算

歳入は、4110万円、歳出は、4049万円で、60万円の黒字。

歳出は、保険給付費11億4012万円、後期高齢者支援金等2億3885万円、共同事業拠出金2億2511万円など。病院への通院・入院等に係る保険給付費が、対前年比5939万円の増で、5・5%の伸び率となりました。

▽26年度公共下水道事業特別会計決算

歳入は、2億6382万円、歳出は、2億6112万円で、270万円の黒字。

▽26年度健全化判断比率・資金不足比率

区 分	26 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- ※1	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	- ※1	20.00%	30.00%
実質公債比率 ※2	13.1%	25.0%	35.00%
将来負担比率 ※3	82.0%	350.0%	
資金不足比率	- ※4	経営健全化基準	20.00%

※1 黒字のため比率はありません。 ※2 自由になる財源の内、借金返済の割合。
 ※3 実質的な債務が、自由になる財源の何年分かの割合。
 ※4 公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計の比率で、ともに黒字のため資金不足比率はありません。

▽階上町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律による社会保障・番号制度の導入に伴い、所要の改正をするための一部改正。

▽階上町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律による社会保障・番号制度の導入に伴い、個人番号カード及び通知カードの再交付手数料を定めるための一部改正。

■意見書
 ▽米価暴落対策を求める意見書

国が、米の需給と価格の安定に責任を持ち、米価暴落対策を図ることを求めるものです。
 提出先 国会

平成27年度補正予算

▽27年度一般会計補正予算（第2号）

1億7191万円を増額補正し、予算総額は6億6155万円。

歳入（収入）は、国庫支出金1570万円、県支出金1217万円、繰越金8553万円、町債4890万円等を増額し、町税107万円等を減額しました。

歳出（支出）は、総務費649万円、民生費5850万円、教育費433万円等増額しました。

主なものは、田代集会所整備のための用地買収費344万円、子どものための教育・保育給付費4304万円、石鉢小学校内放送設備購入費125万円、中体連等参加費補助金321万円等。



現在の集会所に隣接する田代集会所整備予定地

▽27年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

6353万円を増額補正し、予算総額は、20億9364万円。

歳入は、前期高齢者交付金1403万円、繰入金106万円、繰越金4844万円を増額しました。

歳出は、後期高齢者支援金1250万円を減額し、諸支出金1976万円、総務費106万円等を増額しました。

▽27年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

1448万円を増額補正し、予算総額は12億7901万円。

歳入は繰入金1423万円等、歳出は諸支出金1448万円を増額しました。

▽27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

61万円を増額補正し、予算総額は、9920万円。

歳入は、繰越金61万円を増額しました。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金36万円、諸支出金25万円を増額しました。

▽27年度漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

144万円を減額補正し、予算総額は3960万円。

歳入は、繰入金204万円を減額し、繰越金60万円を増額しました。歳出は、総務費154万円を減額し、施設管理費10万円を増額しました。

▽27年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

既定の歳入予算の補正で、予算総額は3億969万円。

歳入の繰入金306万円を減額し、繰越金246万円、町債60万円を増額しました。

平成27年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額
一般会計補正予算（第2号）	1億7,191万円	→	60億6,155万円
特別会計	国民健康保険（第1号）	→	20億9,364万円
	介護保険（第2号）	→	12億7,901万円
	後期高齢者医療（第1号）	→	9,920万円
	漁業集落排水事業（第1号）	△	3,960万円
	公共下水道事業（第1号）	→	3億 969万円

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。



平成28年3月の完成に向けて工事中の道仏コミュニティセンター（仮称）建設地

平成27年 第5回臨時会

平成27年第5回臨時会が8月3日に召集され、道仏コミュニティセンター（仮称）建設工事請負契約の締結の1件が上程され、原案のとおり可決されました。

工期 来年3月まで。
 契約額 2億8917万円
 契約者 株式会社 山道建設

一般
質問

こころが聞きたい

9月定例会では3人の議員が登壇し、町側の考えをたどしました。要旨を掲載しています。



長根 岩夫 議員

Q① 大津波警報などの避難所の利用者について高齢者を含む、要援護者の避難所への移動方法を支援する考えはないか伺いたい。

また、避難所の生活用品について、特に女性の方々が考える常備品についてはどうか。そして、防災倉庫の保管品目、毛布の数や常備品目についてはどうか。また命をつなぐ食糧、水などは何日分を準備する考えか。

A① 町長 指定避難所の受入体制については、「災害時要援護者登録制度」により、登録台帳を整備し、関係団体などと情報を共有して個別避難支援計画を作成中である。有事の際は地域支援者が避難誘導することとしており、地域での日頃の見守りと災害発生時の支援体制を整え

ている。また、女性の方々が必要とする常備品の取りまとは今後検討していきたい。備蓄品目は、毛布180枚、発電機8台、米650食、サ

災害時要援護者支援対策は

町長／個別避難支援計画を作成

バイバルフーズ2080食、ペットボトル4116本など。非常時食糧品の備蓄は、東日本大震災時の避難者を目安に3日分を確保している。

AEDの設置場所公表と貸出し予定は

町長／設置場所は町ホームページで公表貸出しは色々な状況を把握し検討

Q① AED（自動体外式除細動器）の設置場所ほどの程度確認されているか。また情報提供は町民にどのようになっているか。高齢者参加を含む屋外スポーツ競技等への貸出しは可能か。

町民への周知は公表の承諾のあった施設を町ホームページに掲載している。また貸出用は現在常備していないが、色々な状況を把握し検討していきたい。

A① 町長 AEDは、法令で定められた設置等の義務はないが、町で把握しているところでは役場庁舎等公共施設19カ所をはじめ計32カ所に設置されており、

町長 AEDは、法令で定められた設置等の義務はないが、町で把握しているところでは役場庁舎等公共施設19カ所をはじめ計32カ所に設置されており、



AED



設置場所マークの一例

(AEDの形状は、メーカーにより異なります。)

地区集会所の避難所としての整備は

町長／「公共施設等総合管理計画」策定の中で検討

小舟渡地区の集会所は、地域のコミュニティの場であることはもちろん、避難所の機能をもあわせ持つ施設であるので、最優先の課題として高台移転を検討し、指定避難所の機能を持つ施設として整備着手できないか。

A① 町長 公共施設の整備については、2カ年で町の「公



小舟渡集会所

政治を身近に、模擬議会の開催は

町長／関係者との協議含め検討する

Q① 18歳選挙権の改正公選法が成立。中学生模擬議会の開催予定は。国会では、党派をこえて女性議員登用の協議がされている。政治参画を促すため、模擬議会を開催する考えはないか。

A① 町長 中学生、そして女性による模擬議会の開催については、投票率の向上やまた、議会に対する認識を深めていただく必要もあり関係者との協議も含め検討していく。

町長 中学生、そして女性による模擬議会の開催については、投票率の向上やまた、議会に対する認識を深めていただく必要もあり関係者との協議も含め検討していく。



郷州公典 議員

階上町の偉人、太田広城の功績を町民に

町長／イベントでの資料展示等で町民へ紹介

Q① 太田広城は角折に生まれ、八戸藩の大参事となり、翌年青森県の枠組みを作り、明治6年に青森県典事となる。13年には奥尻町に渡り戸長を長年務めた。

城について知識を深め、郷土の偉人として功績をたたえる為に、記録を整理して、啓蒙を進めるべきではないか。

現在、階上町は奥尻町と交流を進めており、平成27年度の予算書に、奥尻町との交流に41万1千円が提案されている。

A① 町長 郷土の偉人太田広城は、明治18年1月から23年11月までの5年11カ月にわたり、奥尻町の第3代戸長を務めている。「はしかみシンポジウ

ム」や平成17年の「石鉢ふれあい交流館講座」などにおいて、太田広城を取り上げ、本町の偉人として、町民に紹介してきた。

Q② 太田広城の功績を子どもたちにも知ってもらうためにも、小学校・交流館等にも、その業績を紹介するものを展示するべきではないか。

A② 教育長 教育委員会としても必要性を感じており、文化祭において展示した一部資料については、ハートフルプラザに継続して展示できるようにしたいと考えている。

さらには、昨年8月の奥尻町「なべつる祭」に、本町職員の訪問にあわせて、関連資料を調べていただき、戸長時代の太田広城に関する回顧録の紹介もしていただいている。

Q③ 奥尻町も平成5年に北海道南西沖地震という大変大きな災害があり、多数の犠牲者が出ている。大変苦勞しながら5年後に完全復興宣言しており、その後は災害に強いまちづくりを進めている。

階上町も東日本大震災という大きな災害に遭い

ましたが、三陸復興国立公園ということで活力をいただいている。ぜひ、交流を深め、先人の偉業を交流の縁として、共に発展するようにしていきたいかと考える。

A③ 町長 奥尻町とは非常に共通した産業構造であり、災

害を受けたという部分もある。当町でも、漁業の復旧・復興等に際して、県の事業で奥尻町の事業をいろいろ参考にしながら、取り組んでいる。今後とも、この深い縁をまた一つの契機として、交流に活用していきたい。



おおたひろき 太田広城 (階上町史より)

「はしかみシンポジウム」や平成17年の「石鉢ふれあい交流館講座」などにおいて、太田広城を取り上げ、本町の偉人として、町民に紹介してきた。

今後は、本町と奥尻町との間で、様々な分野で交流を図り、また、交流を深めながら、町民相互の理解と両町の友好が図られるよう相互交流を進めていきたい。



町民文化祭「太田広城特別展」



荒谷 憲輝 議員

上水道の未整備箇所と普及対策は

町長／未整備箇所の解消に向けて強く要望する

Q① 東日本大震災では水道、ガス、電気、通信が遮断されて、町民は大変不便を感じ、強いライフラインの整備対策を講じていかなければならないと感じたが、上水道の当町の普及率と未整備箇所の経緯と今後の対策は。

A① 町長 上水道事業は、八戸圏域水道企業団が、広域11市町村で事業実施している。昭和61年当時の普及率は93・23%で、平成26年は98・34%になっている。

当町では、昭和57年に開始しており、配水管敷

設後に新築された所や、遠く離れて自己負担が高額な所などが未整備となっている。

現在、八戸圏域水道企業団が長期的な総合計画と短期的な財政計画により、未整備箇所の解消に向けて配水管の敷設を進めているが、当町も未

整備箇所の解消に向けて強く要望していく。



大蛇漁港改修工事の今後の予定は

町長／防波堤工事は一時休止を検討 道路舗装工事は年度内完了

Q① 大蛇地先の将来を見据えた計画が必要だが、平成26年度事業の中で未契約となっている。原因と今後の漁港改修工事の発注予定、事業の国、県の補助割合と、今年度契約に至らない場合の対処は。

A① 町長 大蛇漁港改修工事は、平成23年度から総事業費1億4168万円で、漁港の長寿命化を図る計画だったが、東日本大震災で、大規模な復旧工事が集中したため、平成26年9月の入札は不成立となり、27年度に明許繰越している。予算内で防波堤工事困難であることから、一時休止することを含めて、国、県と協議する。臨海道路の舗装工事は、今年度内に完了する。



大蛇漁港

Q② 大蛇漁港の間口の、転石の存在は確認しているとのことだが、干潮時に船底への衝突や損傷の危険があるため、対処をお願いする。

A② 建設課長 現段階では、航路への影響は少ないと判断しているが、部会の協力をいただきながら利用者への注意・喚起をしている。今後は効果的な除去を検討していく。漁港の保全事業を優先し、災害を考慮し機能強化を検討する。

(仮称)ハマの駅の用地買収予定時期と災害時の避難計画は

町長／用地買収は事業採択後、避難計画は避難誘導マニュアルを策定

Q① (仮称)ハマの駅は、国の産地水産業強化支援事業を活用して27年度計画策定と聞いているが、建設用地面積と、買収予定時期はいつになるのか。また、さわやかトイレを含めた用地買収を検討すべきではないか。

A① 町長 (仮称)ハマの駅は、大蛇地区さわやかトイレ付近を予定しており、施設の規模や形状など考慮し、イベントや、大型バスが駐車できるスペースを確保したいと考えている。

建設用地が沿岸だが、災害時に速やかに避難でき

る場所、経路、時間の内容は。

建設用地面積は、今後産地協議会の中で検討する。また、買収予定時期は事業採択され交付決定後の見込み。

避難計画は、津波到達予測時間を最短13分としており、緊急避難場所まで約550mのため、徒歩でも避難できると考えている。車やバスも利用可能である。また、施設



避難路案内看板

議会活動

8月

- 3日 第5回臨時議会
- 4日 町防犯交通安全少年球技大会
- 9日 元階上町長正部家佑介氏旭日双光章受章記念祝賀会
- 22日 八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟総会及び中核市シンポジウム
- 27日 県議長会議会広報研修会



議会広報研修会

28日 県民駅伝競走大会階上町選手
団結団式

9月

- 1日 町老人スポーツ大会
- 3日 議会運営委員会
- 4日 新ALTSキシヤさんを迎える会
- 5日 階上岳大開平休憩所開所式
- 6日 県民駅伝競走大会階上町選手団反省会
- 8日 第6回定例会本会議
- 8日 議員全員協議会
- 8日 産業建設常任委員会
- 10日 第6回定例会本会議
- 10日 議会のあり方に関する検討委員会
- 11日 第6回定例会本会議
- 11日 議員全員協議会
- 12日 八戸・久慈自動車道整備促進住民大会



八戸・久慈自動車道整備促進住民大会

10月

- 13日 町民大運動会
- 14日 町小学生防犯弁論大会
- 15日 八戸地域広域市町村圏事務組合議員協議会
- 20日 町消防操法競技大会
- 30日 青森・岩手県境交通安全推進大会
- 2日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 8日 町老人クラブ連合会設立50周年記念式典
- 9日 議会だより編集委員会
- 10日 町連合PTA研修会
- 16日 議会だより編集委員会
- 16日 定住自立圏の形成に関する勉強会及び交流会
- 19日 郡議長会臨時総会
- 20日 議員全員協議会
- 23日 議会だより編集委員会
- 27日 議会報告会勉強会
- 28日 県議長会正副議長・事務局長研修会
- 29日 議会だより編集委員会
- 31日 町民文化祭

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	会 費	8月9日	元階上町長正部家佑介氏旭日双光章受章記念祝賀会	6,000円
2	会 費	9月4日	新ALTSキシヤさんを迎える会	4,000円

番号	支払区分	支払月日	支 払 内 容	支出金額
1	祝 金	9月6日	県民駅伝競走大会階上町選手団反省会	3,000円
2	祝 金	10月8日	町老人クラブ連合会設立50周年記念式典	3,000円

県議長会議会広報研修会

8月27日、青森市で開催された「県議長会議会広報研修会」に、議員8人が参加。

- 講師 議会広報サポーター
芳野 政明 氏
- 研修事項(1)「住民に読まれ、議会活動が伝わる」
－議会報の基本と編集技術－
(2)「町村議会広報のクリニック」



八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟総会 及び「中核市」シンポジウム

8月22日、八戸市で開催された「八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟総会及び「中核市」シンポジウム」に、議員14人が参加。

- 講師 総務省自治行政局
市町村課長 海老原 諭 氏
- 演題 「中核市と広域連携について」



議会だより編集委員会

- | | |
|--------------|----------------------|
| ◆ 編集委員会の開催 | ◆ 今月号の編集委員(3人) |
| ・ 第1回 10月9日 | ・ 郷州 公典 議員 |
| ・ 第2回 10月16日 | ・ 林 貢 議員 |
| ・ 第3回 10月23日 | ・ 荒谷 憲輝 議員
(産業建設) |
| ・ 第4回 10月29日 | |



第17回定住自立圏の形成に関する勉強会・交流会

10月16日、田子町で開催された「第17回定住自立圏の形成に関する勉強会・交流会」に、議員13人が参加。

- 講師 総務省地域力創造グループ
地域自立応援課長 黒瀬 敏文 氏
- 演題 「地方創生の最新動向」



議会活性化の取組

町民に、より信頼され開かれた議会をめざし、今年度も議会報告会を開催することに決めました。

◆ 9月8日 議員全員協議会

第3回議会報告会を11月下旬の平日に2日間、4会場、2班に分かれて開催することに決定しました。

具体的な日程・内容等は、議会のあり方に関する検討委員会等で話し合っていくこととしました。

◆ 9月10日 議会のあり方に関する検討委員会(委員長 郷州公典議員)

第3回議会報告会の開催日を11月26日、27日の2日間としました。

◆ 9月11日 議員全員協議会

検討委員会の協議内容を報告し、報告内容の確認をしました。

◆ 10月20日 議員全員協議会

報告内容の第3回目の検討を行いました。今後も報告会開催に向けて準備していくこととしました。

第3回 議会報告会開催のお知らせ

開催趣旨－議会活動や行政課題に対する取り組みの状況など、議会の説明責任を果たすとともに、町民の皆さんの意見や提言等を取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図るものです。

主 催－階上町議会

◆次の日程・会場で開催します。

※ 開催時間は約2時間

開催日	1 班	2 班
11月26日(木)	石鉢ふれあい交流館 18:30～20:30	ハートフルプラザ・はしかみ 18:30～20:30
11月27日(金)	森の交流館 18:30～20:30	道仏公民館 18:30～20:30
議 員 班 編 成 (常任委員会)	山田 恵 治 (総務財政) 百目木 和 俊 (産業建設) 松尾 國 治 (教育民生) 濱谷 貴 樹 (総務財政) 長根 岩 夫 (総務財政) 小松 雅 彦 (産業建設) 大下 修 (教育民生)	畑 中 弘 實 (教育民生) 郷 州 公 典 (教育民生) 大江 和 夫 (産業建設) 林 貢 (総務財政) 森 榮 吉 (教育民生) 上道 二三男 (総務財政) 荒谷 憲 輝 (産業建設)

※ 当日は2班に分かれてみなさまのところにお伺いします。

※ 報告会の内容

- ・議会活性化の取り組み状況、町の平成26年度決算状況、町政の重要課題（報告と質疑応答）
- ・議会運営、町政に関する意見・提言等

○どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえおいでください。

○地域の方の声や広く町民の声をきかせるため、お一人様1会場の参加をお願いします。

【問合せ先】 階上町議会事務局 電話88-2369 FAX88-2117



9月11日 議会報告会に係る議員全員協議会

区長に聞く⑥

～耳ヶ吠西行政区～



国道45号花壇に花植えをする住民



A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 前期の実施事業の継続と、この地域は旧町内と新興住宅で構成され、住宅団地でまだまだ造成

Q 後期計画のおもな取り組みは。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。

A 議会だよりの継続をお願いするとともに、他市町村の成功例など取り上げていただければと思います。編集委員の今後益々の活躍にご期待申し上げます。

Q 議会や議会広報への意見・要望はありますか。



救急救命講習会の様子

編集後記
9月定例会は決算議会でした。決算に係る額が大きく、内容也多岐にわたりますので、皆さんにできるだけわかりやすく読んでいただけるよう、心がけて編集しました。(郷州・林・荒谷)

議会傍聴者数
・第5回臨時会
8月3日(2人)
・第6回定例会
(平成27年9月)
9月8日(3人)
9月10日(15人)
9月11日(0人)

議会を傍聴しませんか
議会の傍聴は、受付簿に、住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

快適で安全に暮せるまちづくり

階上町では、19の全行政区で、まちづくり計画をつくり、協働のまちづくりを進めています。計画期間は、2029年度の10年間、25年度から後期計画がはじまりました。



中城 功 区長

A 十数年前から町内の理事として役員の皆さんと一緒に活動して参りました。平成26年3月地区総会に於いて推薦をいただき、引き受けました。

Q 区長になったきっかけは。

また、住民の6割強が他地域からの転居者でもあることから、従来の住民と一緒になっているいろいろな面について、特に生活環境、道路整備などの充実を図っていかねばならない地域でもあります。

A 耳ヶ吠西地区は旧町内と新興住宅で構成され、公共機関、学校、地元企業があり、隣接している国道45号沿線には道の駅、大型スーパーやホームセンター、銀行等があり、商業地形成も進み恵まれた生活環境にある町の中心地域です。

Q 耳ヶ吠西行政区はどんなところですか。

② 防災・地域安定対策として自主防災組織の整備、防災意識の高揚として消防職員による講習会、防犯灯の増設・LED照明への切り替え、町道役場前・耳ヶ吠線歩道整備、地区内の歩道除雪。

A ① 道路等整備として、天当平地内舗装整備L1100m、雨水処理施設整備として、耳ヶ吠地内水路改修L1100m。

Q 前期計画では、どんなことを行いましたか。

されるのが予想されることから、地区住民のコミュニケーションづくりが必要不可欠であり、これを第一と考え、住みよい住環境の整備に取り組んでいきたい。